



AMERICAN LANGUAGE TEACHING ACADEMY - CEBU

教育方針と指導要綱

Dr. Anita Rosal PhD. アニタ・ローサル博士（英語教授法）

ハワイ大学教育学部英語科修士 Magna Cum Laude

南カリフォルニア大学言語学博士 Magna Cum Laude

ローザル博士は教育課程や言語学に関する著作を多数執筆しており、特に第二言語としての英語と英会話の習得についての研究を重ねてきました。

ALTAのカリキュラムを作成するのにふさわしい経験を持った理想的な教育者です。

英会話能力の向上を主とした英語学習 カリキュラム

TARGET CLIENTELE コースの対象者

者

英語を第二言語として学び、ビジネスや学術的分野、日常会話に必要なコミュニケーション能力を強化したいと願う10代から成人までの学習者。

COMMUNITY 英語学習環境としてのフィリピン

フィリピン

フィリピン・セブでは小学校から大学までの教育が英語で行われています。教材をはじめとして新聞、雑誌、映画、テレビ、ラジオでも英語がおもに使用され、フィリピン人は常に英語にさらされて生活しています。学校の外でも英語を使う機会に恵まれています。

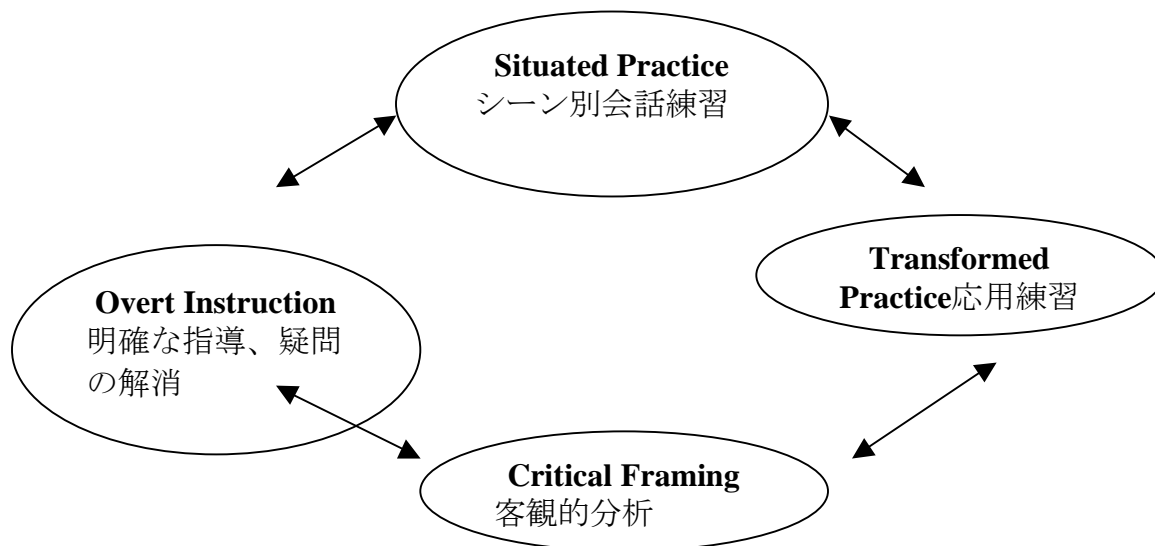
RATIONAL 当カリキュラムの意義

母国語の習得とは異なり、第二外国語の学習者は文法規則をベースとした教科書を使用し、リーディング・ライティングに重点を置いて学習することが多いです。その結果リスニング・スピーキング能力が全体と比べて低くなり、会話のやり取りや発音に対する苦手意識から、知識として習得した文法や表現、単語なども実際の会話で使いこなせないという問題があります。

そうした学習者にとってもっとも効果的な学習方法を研究し、完成されたのがこのカリキュラムです。

LEARNING OPPORTUNITIES 指導要綱

社会文化的教育学の観点から、以下の4つの側面を相互補完的に学習することが効果的です。



Situated Practice

シチュエーションプラクティスでは、教師がレベルに応じて題材を用意します。

会話カード、ゲーム、シーン別会話練習、雑誌記事に関する意見表明や議論、ディクテーション、音読、リテリング、シェアリーディング(教師との同時音読)、映像・音楽教材の使用

Overt Instruction

会話を成立させるのに必要なスキルを体系的に、確実に身につけるための反復練習

発音練習、文法演習、疑問に対しての解説、辞書や類語辞典の使用、修辭的表現の習得

Critical Framing

客観的な視点から学習効果を分析し、個人に適した学習方法を導き出すこと

日記、生徒へのインタビュー、自己分析

Transformed Practice

応用練習 新しく習得した知識やスキルを幅広く応用し、使いこなす練習

相槌や短い受け答えなどの反応を示す表現、即興英作文、シーン別会話練習、英文作成練習、音読

STUDENT CENTERED 各学習者に

じた指導

話題や教材選択の際に学習者の嗜好や性格を考慮

することで、やる気を引き出し、上達を促します。

- 1.) 個人的な興味や経験に応じたテーマを利用
- 2.) 学習者が自覚している各自の目標に沿った学習計画
- 3.) 共感や会話の盛り上がり为上達を早めることを認識すること

STRATEGIES 学習計画

- 1.) 常に英語を使える周辺環境を学習者に提供すること(English immersion-英語漬け環境)
- 2.) 言語の習得には、背景となっている文化を理解することも必要です。ネイティブスピーカーの指導者との異文化相互理解に努めることは学習的観点からも非常に有効です。
- 3.) 教師と頻繁に会話することで頻出する表現や重要文法規則を習得していくことができます。
- 4.) 言語習得のためには、インプットを与えられるだけでなく、インプットを取り込み、吸収することも必要です。不安や疑問を取り除き、学習者の自信ややる気を引き出すことでインプットの吸収を促進します。
- 5.) さまざまな会話形式に参加することで第二言語の習得は促進されます。会話形式の種類やその目的、学習方法と学習時期についてはレベル別に分類されて

います。(lesson outline レッスン概要を参照してください。)

Dr. Anita Rosal
アナタ・ローサル博士